

STOP

油

流出事故

処理費用は原因者負担!

可搬式オイルフェンスによる油流出防止(H22.10.5 関係機関による水質事故対応訓練)



フェンスの組立



フェンス運搬



河川への設置(展帳)



老朽化によるホームタンクの倒壊

事故対応事例



水路での油回収(吸着マット)



河川流出防止(オイルフェンス設置)

米代川水系水質汚濁対策連絡協議会

事務局/国土交通省 能代河川国道事務所 河川管理課 TEL 0185-70-1001

水質事故の多くは油の流出！ 原因の大半は“不注意”

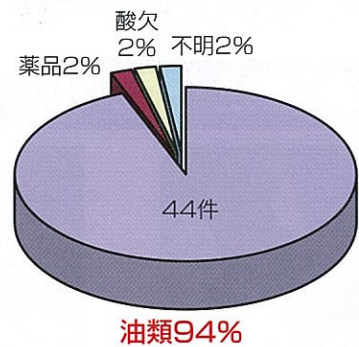
平成22年、米代川水系で発生した水質事故は**47件** 原因物質の**94%は油類**
原因判明のうち**人為的ミスが60%**
(未然防止可能)

油が漏れ出すと**火災の危険**があるほか、地下水や植物の生育傷害等、**環境に悪影響**を及ぼし、又、河川まで流れ出してしまうと**水道の取水停止**等、地域生活に重大なダメージを与えることから**早期の回収、流出防止対策**を取る必要があります。
その際の**処理費用は、事故を起こした人が負担**しなければなりません。

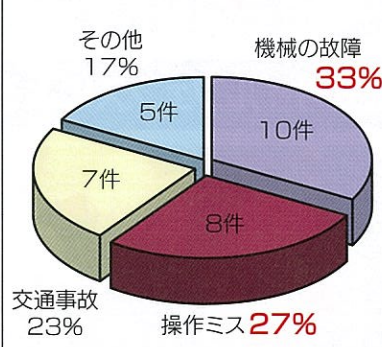
原因者とならないよう**下記に注意**してください。

又、万が一事故を起こした時や発見した際は、早期に近くの**国や県の機関、市町村役場、消防署、警察に連絡**してください。

H22物質別件数47件 内訳



H22原因判明件数30件 内訳



家庭で

事件事例：ホームタンクから小分け中に現場を離れ、灯油200ℓが河川に流出。水道が取水停止となり、原因者に**被害額が請求**された。

給油の時そばを離れない

最近では電動式の給油ポンプが多く使われています。自動的に停止する装置がついていても、目を離れたときにポンプが傾いたりして、あふれてしまうことがあります。あふれた灯油は火災をおこす危険があり、また川に流出して汚染の原因となります。給油が終わるまでは、決して目を離さないようにしましょう。また、**ホームタンクや配管の定期点検を実施**しましょう。



事業所で

事件事例：事業所敷地内の油分離槽に雨水が入り込み廃油が流出。老朽化した暖房用燃料配管に亀裂が入り灯油が流出。

定期点検の実施

消防法では、危険物施設の区分毎に定期点検の時期や内容が定められています。法令で定められた定期点検を確実に行うのはもちろんですが、事故を防ぐためには毎日の作業の中に点検が組み入れられ、それが日常化する事が大切です。

施設の**操作・作業方法**の確認・徹底



廃油の管理

自動車工場、廃車置き場など



油水分離槽の管理

ガソリンスタンドなど



冷暖房用の燃料管理

ホテル・工場・学校・会社